

どこまで連勝が続くのか。優勝戦線の先頭に立った平幕力士に注目が集まる。

五日目までを取り終えて全勝は平幕の若柱ただひとりとなり、1敗で春ノ翔、若ノ嶋の2横綱に平幕のベテラン佐賀ノ海、先場所8勝で敢闘賞の越境山、新入幕の若雲山が続く展開で中日を迎える事となった。

上位陣が軒並み黒星を喫する状況ではあるが、ここまで際立った強さを見せる力士が居ない今場所。若柱がこのまま優勝戦線を引き張って行くのか。平幕力士に主役を奪われないうために、相撲内容から一敗の二横綱の安定感に期待したい。

次回開催は6月28日の予定で波乱の幕開けとなり、誰が優勝するのか予想のつかない土俵に乞うご期待！（香具山）

### 十両はベテラン角武蔵が5連勝

十両も四日目と五日目を終えて勝ちっぱなしは角武蔵1人となり、これを1敗で寶蔵風神丸、荒鷹の3力士が追いかける展開になった。

先場所大敗を喫して33歳のベテランも流石にここまでかと思われたが、見事に息を吹き返して圧巻の5連勝を遂げた。

五日目に新入幕で勢いのある風神丸と対戦し、左を差され不利な体勢となりながらも、動き回ってしごとく凌いで勝ちを拾った。中盤以降もこの調子を持続させていけば、今場所は優勝の本命がいよいよだけにチャンスは巡ってきそう。

このところすっかり十両に定着してしまっただけに、宝蔵は陥落から今場所



風神丸●(引き落とし)○角武蔵



角武蔵○(押し倒し)●超 刃

所で9場所目。再び幕内に戻るべく千丈岳雪若丸を破り4勝1敗と勢いが増してきた。同部屋で新入幕を賭ける榮盛とともに優勝争いに加わって行きたいところ。

風神丸、荒鷹の新十両勢も元氣だ。風神丸は5連勝とはいかなかったが、四日目に栃尾山に圧倒する相撲で押し倒して勝利。中日以降も白星を積み重ねて行ければ面白い存在になってくるだろう。

かたや荒鷹は四日目に十両初黒星を喫したが、五日目に磐若にのど輪を入れてこちらも松勝1敗と堂々の成績。松神親方もこの結果は想定しなかった。かとも知れないが、本場も一致した見解だ。

春日根勢が入幕を果たし優勝争いが混沌としそうな今場所、「千丈岳が優勝候補の一番手かもね」と鹿賀乃戸親方。しかしその予想に反し寶蔵と真田丸に不覚をとり2勝3敗で黒星先行。

風神丸がいい相撲を見せているだけにこは兄弟子としての威厳を見せたいはずだが、ライバルが居なくなること気合がいま一つというところなかも。

錦風部屋では磐若が3勝2敗と健闘しているのに対し、期待度100%だった栃尾山が二日目から4連敗と全く精彩を欠く結果となっている。錦風親方も「廻しを重くしたら全然ダメだね」と首をかしげる。

幕下までは出足で圧倒する相撲を見せていただけに、逆に攻め込まれて敗れるといった具合だ。果たして巻き返しはあるのか、このままでは終われない。(山里)



荒 鷹○(押し倒し)●磐 若



風神丸○(押し倒し)●栃尾山

### 幕下は秋ノ田勢が好調

幕下は初日の取組が終わったが、まだ始まったばかりで誰が抜け出してくるか分からない状態。

幕下上位では元十両の柏陵山、若草山、旅籠錦の3人が白星として関取復帰を目指す。東四枚目に躍進の友砂親方期待の大勢が紅の華を押し倒して好発進。

先場所、惜しくも千秋楽に敗れ負け越した秋田部屋の達子波は巨鵬を引き落としに破り、再び部屋初の関取を目指す。



茅ヶ崎●(寄り切り)○難波山



達子波○(引き落とし)●巨 鵬

秋田部屋は難波山千曲海も勝って、3人も白星スタートとなり親方を喜ばせた。

今場所の新幕下は4人のこの内、錦風部屋3人が勝って好発進。特に逆本は育成会で初土俵以来14勝1敗と圧倒的な好成績で幕下に昇進しており、幕下でどのような相撲をみせるか楽しみだ。(錦風)



逆 本○(寄り切り)●吉備里

### 三段目、序の口

三段目では把若寿、伊勢里、天真、碧錦、若播磨、清水山ら有力力士が順当に白星をあげた。

また、十両で引退した大綱風、椿富士柰で三段目尻に付出された有難山と若ノ虎が白星スタートした。

序二段で注目を集めたのは朱鷺錦と魁の一番。友砂期待の魁が優勝との予想の中、朱鷺錦が相手をよく見て、引き落としで初戦を制した。

秋月部屋から久しぶりに新弟子が参加。序二段付出しで初土俵となった玄鵬が嬉しい白星。秋月部屋の白星は第152回序の口二日目の讃岐富士以来となる。

序の口では大松戸親方が自信をもって送り込んだ神宮が期待に応えて山里部屋の高島を寄り切り、勝間田親方を大いに悔しがらせた。

また逆本3兄弟の末っ子が若逆本の四股名でデビュー。二人の兄と似た速攻相撲で香具山部屋の大石を寄り切って初日を飾った。



若逆本○(寄り切り)●大 石



神 宮○(寄り切り)●高 島



朱鷺錦○(引き落とし)● 魁



徳 泉●(寄り切り)○把若寿

また、十両で引退した大綱風、椿富士柰で三段目尻に付出された有難山と若ノ虎が白星スタートした。

この日は長兄逆元春、次兄の逆本も白星を挙げ、紙相撲史上初の3兄弟の同日白星となった。(鹿)